

封書、はがきの郵便料金を値上げするため、総務省は18日、封書の郵便料金の上限を引き上げの検討を始めた。これを受け、封書は現在の84円から110円に、はがきも63円から85円に値上げされる見通しだ。いずれも来年秋ごろを想定している。封書料金の値上げは、消費税増税をめぐって1994年以來となる。

総務相の諮問機関である情報通信行政・郵政行政審

封書 110円 はがき 85円

値上げへ

議会の分科会で検討が始まった。25%以下の定形の封書のみ郵便法の省令で上限額が決められている。現状の上限である84円を110円に引き上げる方針。総務省は早ければ来年6月にも改正省令を施行する見通しだ。

実現すれば、日本郵便は25%以下の定形の封書の郵便料金を84円から110円に、50%以下の定形封書も94円から110円に統一する。料金を最も低い定形の封書未満にすると決められているのはがきは85円にする予定だ。同時に、速達やレターパックなどの料金値上げも想定する。

郵便物数の減少や人件費などの高騰をうけ郵便事業は厳しい状況にある。2022年度の郵便事業の営業損益は211億円の赤字だった。赤字は、07年の郵政民営化後、初めて。

(鈴木友里子)